

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
華服飾専門学校	昭和51年6月10日	寺地 尚久	〒110-8662 東京都台東区根岸1-1-12 (電話)03-3875-1111				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人華学園	昭和33年7月3日	坂本 克雄	〒110-8662 東京都台東区根岸1-1-12 (電話)03-3875-1111				
目的	服飾に関する専門的学理と技術を教授し、職業・実生活に必要な能力を育成すると共に教養の向上を図り、我国文化並びに社会に貢献することを目的とする。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
服飾・家政	服飾専門課程	ファッションクリエイター科		平成7年文部科学省告示第7号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700	1140	0	560	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数		兼任教員数	総教員数		
140人	60人	13人		11人	24人		
学期制度	■1学期: 4月1日～9月30日 ■2学期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験の点数 授業の出席状況 課題の提出等を総合的に判断して行う。			
長期休み	■学年始: 4月1日～4月5日 ■夏季: 7月25日～8月31日 ■冬季: 12月25日～1月7日 ■学年末: 3月20日～3月31日		卒業・進級条件	卒業進級判定会議を開催し成績・出席状況等を総合的に判断し決定する。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 保護者・本人に連絡し必要な場合は来校を仰ぎ学生指導係や担任による指導を行い欠席状況や指導内容は学生カルテに記録。		課外活動	■課外活動の種類 就活研修 工場見学研修 企業研修(インターンシップ) ■サークル活動: 無			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 アパレル企業・スタイリスト事務所 ■就職率 <sup>※1</sup> : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 96.4% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年4月1日時点の情報)		主な資格・検定等	ファッションビジネス検定 色彩検定 サービス接遇検定			
中途退学の現状	■中途退学者 5名 平成27年4月1日 在学者 60名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 55名 (平成28年3月31日 卒業者を含む)		■中退率 8.3% ■中途退学の主な理由 経済的理由・進路変更・健康問題 ■中退防止のための取組 定期的に担任面談、内容により学生指導担当や学科長等が面談を実施し学生と対話する機会を多く設けている。 経済的理由の場合は、保護者と連絡をとりながら奨学金等の説明を行う。				
ホームページ	URL: <a href="http://www.hana-fashion.ac.jp/">http://www.hana-fashion.ac.jp/</a>						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業等との連携を通じ 必要な情報の把握・分析を行い 企業の要請・情報・意見を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月30日現在

名 前	所 属
戸張 隆夫	一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会 専務理事
井上 伸行	株式会社井上伸行デザイン事務所 代表取締役社長
山田 良美	有限会社汀麻利工房 取締役
並木 利明	株式会社クレオ 柏店店長
米田 吉行	株式会社Athena-f 代表
寺地 尚久	華服飾専門学校 校長
高柳 和子	華服飾専門学校 教務部担当
寺島 さやか	華服飾専門学校 教務部担当
山田 由紀	学校法人華学園 事務局 キャリアセンター

(開催日時)

第1回 平成28年7月19日

第2回 平成28年12月(予定)

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

建学の精神である「華学園の教育を通じて 時代の求める職業人を育成」する為に、業界で実際に働いている講師を招聘し ファッション業界で役立つ知識・技能を身に着けさせる。講師選定にあたっては学生が社会人となった時にすぐに活用できるように現在 業界で活躍中の業界人を講師として派遣できる事を条件とした。インターンシップにおいて企業等と協定を締結し、学生に社会体験させる事を基本方針とする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
商品企画	アパレルの現状(マーケット・ショップ・生産…)アパレルの未来(世界の見方と現状・素材のこれから…)等グループによるショップリサーチ、グループによる服以外のオリジナル商品のブランド化、ユニバーサルデザインの提案、グループテーマに基づく企画考案、オリジナルブランド作り	(株)井上伸行デザイン事務所

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教職員研修規程 第1条の目的並びに第4条の研修の計画的推進に基づき教職員に対し、専攻分野における実務に関する知識、技術、技能ならびに、授業および学生に対する指導力等の修得、向上を目的とする組織的な研修を計画を立てて受講させる。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年9月30日現在

名 前	所 属
安部 良祐	株式会社ワールドストアパートナーズ 販売(卒業生)
北里 麻里絵	株式会社オンワード樫山 販売人財課 リーダー
杉田 護	株式会社トラスト 代表取締役
椿 仁三千	松戸市立松戸高等学校 進路指導部長
織戸 正彦	株式会社ボンマックス 第二営業グループ マネージャー
吉野 進	株式会社ステップス 取締役業務部長
白石 正和	株式会社コンペインガーデンリミテッド 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.hana-fashion.ac.jp/>

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.hana-fashion.ac.jp/>

授業科目等の概要

(服飾専門課程ファッションクリエイター科)平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必修	選択 必修	自由 選択						講 義	演 習	実 験・ 実習・ 実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ファッションコー ディネート	・ファッションの歴史とトレンドについて 雑貨アイ テム ・コーディネートのポイント ・ディテールと体型カバーについて 等	1・ 2 通	180		○		△	○			○	
○			商品企画	・アパレルの現状 (マーケット・販促・生産) ・アパレルのこれから (世界の見方と現状・ 素材の未来・未来のファッション) 等	1・ 2 通	180		○		△	○			○	○
○			F・マーケティング	・ターゲットの説明とブランドターゲットマップ作成 ・マトリックス図の説明とブランドポジショニングマップ 作成 等	1・ 2 通	90		○			○	△	○		
○			FB基礎	・ファッションとは シルエットディテール ・小売業の概要 計数について ・オフタイムの分析とマップの製作 等	1・ 2 通	90		○			○	△	○		
○			スタイリング	・スタイリストワーク ファッション雑誌研究 ・イメージ着回しコーディネート ・色と柄の使い方 撮影実習 等	1・ 2 通	180		○		△	○			○	
○			カラー	・色の三属性とトーン 色と光 ・色彩と構成 色彩心理 配色について ・混色 目の構造 パーソナルカラー 等	1 通	60		○		△	○			○	
○			素材	・化学繊維 織地 編地 染色加工 ・仕上げ加工 糸 混用素材 天然繊維 等	1 前	60		○		△	○			○	
○			一般常識	・社会・時事問題 数的処理方法 ・文章作成方法 等	1 後	30		○			○		○		
○			服飾造形	・マシン取り扱い 部分縫い 基礎刺繍 ・ワークキャップ コサージュ製作 等	1・ 2 通	60		△		○	○		○		
○			CGD	・学園紹介ポスター ・ファッションショーパンフレットの作成 等	2 通	50		△		○	○		○		
○			ファッション販売	・販売ロールプレイ 商品管理 ・接客技術 販売の基本(話し方・立ち振る舞い) 等	2 通	60		○		△	○		○		
○			着付	・きもの知識 ・浴衣 振袖 留袖の着付 ・七五三 着付 等	1・ 2 通	60		△		○	○		○		
○			ディスプレイ	・ディスプレイの基本 三角構成 オブジェ 作成 ・ディスプレイの5W2H ・棚・ラックの陳列 販売実習 等	2 後	60		△		○	○		○		
○			アパレルデザイ ン	・スタイル画 製品画 ・オリジナルブランド企画 ・イメージマップ製作 等	1 通	60				○	○		○		
○			コンセプトメイク	・メイクアップの基礎 ・セレモニーメイク ボディメイク ・パーティメイク 等	1・ 2 通	120		△		○	○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ヘアー	・専門用語 道具説明 ・ヘアー各種(逆毛 シニヨン アップバリエーション等) ・ファッションショースタイル 等	1・2通	120		△		○	○			○	
○			ファブリケーション	・春夏素材・秋冬素材の特性・機能性を学ぶ ・クレーム対応の対策 等	1・2通	30		○		△					
○			ビジネスマナー	・サービス接客検定対策 ・言葉遣い ビジネス文書 来客対応 電話応対 等	1・2通	60		○			○			○	
○			就職ガイダンス	・自己分析 企業研究 等 ・面接練習	1後2前	60		○							
○			アクティブラーニング	・ブランド企画をグループワークで行い、作品を製作し発表する。 ・ファッションショーを企画し音楽の選定、演出、ウォーキング練習を行い実施する。 等	1・2通	30		○	△		○			○	
○			オリジナルプランニング	・各時で製作目標を設定して授業内で製作する。 ・完成した作品は学園祭で展示・発表する。 等	1・2通	30		△	○		○			○	
	○		自由選択	・専任教員が様々な授業内容を設定して学生が選択する。 ・学年・コースをミックスした授業を行う。 ・グリーティングカード作成・英会話・レザークラフト 等	1・2通	30		○	△		○			○	
合計				22科目		1700単位時間	(	単							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：各授業科目の学期末試験の合格及び規定時間の出席		1 学年の学期区分	2期
履修方法：22科目 1,700単位時間を履修する		1 学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。